

株主 通信

第121期中間

2014年4月1日から
2014年9月30日まで



125th
Anniversary

KG - W I N T E R - REPORT

冬号 2014

業績ハイライト

2015年3月期 第2四半期(中間期)連結業績

▶ 前年同期比、若干の減益なるも、 通期見通しに対する進捗は順調

		前年同期比
売上高	5,344億円	(-0.6%)
営業利益	111億円	(+5.5%)
経常利益	106億円	(-3.6%)
四半期純利益	61億円	(-3.1%)

▶ 125周年記念配当1.0円を含む2.5円の中 間配当を実施

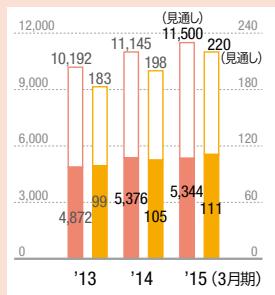
当第2四半期の売上高は、鉄鋼・素材・プラントセグメントおよび車両・航空セグメントは輸出取引を中心に活況でしたが、食料セグメントは畜産事業が好調だったものの穀物相場下落の影響等により減収となり、全体では前年同期比32億円減少の

5,344億円となりました。営業利益は6億円増加の111億円となり、経常利益は為替差益が大幅に減少したことなどから4億円減少の106億円となりました。当期純利益は、経常利益の減少に伴い2億円減少の61億円となりました。

売上高/営業利益

(億円)

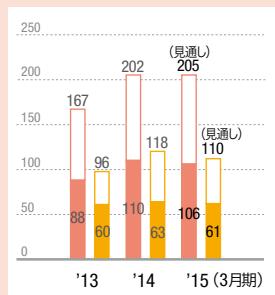
売上高 □(通期) ■(中間期)
営業利益 □(通期) ■(中間期)



経常利益/純利益

(億円)

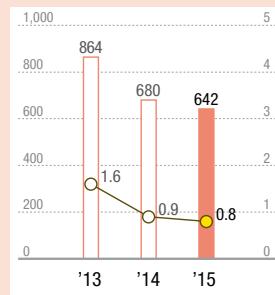
経常利益 □(通期) ■(中間期)
当期純利益 □(通期) ■(中間期)



ネット有利子負債/ ネットDER

(億円/倍)

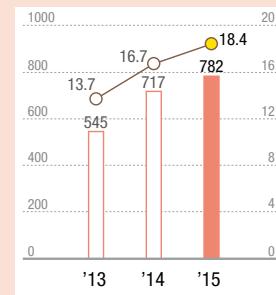
ネット有利子負債 □(期末) ■(中間期末)
ネットDER ○(期末) ●(中間期末)



自己資本/自己資本比率

(億円/%)

自己資本 □(期末) ■(中間期末)
自己資本比率 ○(期末) ●(中間期末)



(注) ネット有利子負債=有利子負債-現金及び預金
ネットDER=ネット有利子負債/(純資産-少数株主持分)

(注) 自己資本=純資産-少数株主持分
自己資本比率=(純資産-少数株主持分)/総資産



新たな挑戦で、更なる企業
価値の向上を目指します。

代表取締役社長

下嶋政幸

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2015年3月期第2四半期連結業績は、穀物・飼料および畜産事業が好調だった食料部門や、航空機部品取引ならびに欧米・アジア向けの二輪・四輪車用部品取引が好調だった車両・航空部門が牽引する形で、営業利益段階で前年同期比増益となるなど、順調に進捗しております。

連結財政状態については、四半期純利益による利益剰余金の積上げや円安による為替換算調整勘定の良化などにより、純資産が1,000億円を超える水準となりました。その結果、自己資本比率は18.4%、ネット有利子負債倍率(ネットDER)は0.8倍となり、財務指標は着実に改善しております。

また、創業130周年までの5か年を対象とした中期ビジョン「VISION-130」を実現すべく、成長のための事業投資なども着々と進めております。

まず、グローバルに拡大し多極化が進む二輪・四輪車市場に対応するため、欧米・日系部品メーカーが進出するメキシコ

に当社現地法人を設立いたしました。また、アイルランドで航空機用循環部品ビジネスを行っている子会社では、今後更なる拡大が見込まれる世界の航空機市場の需要に対応するため、従来のボーイングB737型機向けに加え、新たにエアバスA320型機向け循環部品の取扱いを開始いたしました。さらに、飼料事業において、北海道のペット用スナックメーカーを買収し、原料調達から製造、販売までの一貫体制を確立いたしました。今後も当社グループの得意分野において、新たなチャレンジを通じて企業価値の更なる向上に取り組んで参ります。

配当につきましては、企業価値の向上と株主の皆さまへの還元のバランスを考慮し、継続的かつ安定的に行って参ります。当期は当社創業125周年を迎えたことから、株主の皆さまへの感謝の意を表し、中間配当を記念配当1円を含む2円50銭とさせていただきます。期末配当1円50銭と合わせ、年間では1株当たり4円とさせていただきます。予定です。

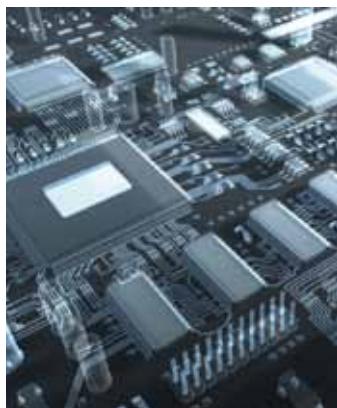
株主の皆さまには、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく御礼申し上げます。

事業別概況

Electronics & Devices 売上構成比

23.7%

電子・デバイス



売上高・営業利益 (億円)



主要事業

- 半導体部品・装置
- 電子機器・電子材料
- ICT・モバイル

主要グループ会社

- 兼松エレクトロニクス
- 兼松コミュニケーションズ
- 日本オフィス・システム

事業レビュー

当セグメントでは、電子関連の素材から部品・装置までの幅広い製品、モバイルソリューション、ICTソリューション事業などを展開しています。当第2四半期は、半導体部品・製造装置事業はスマートフォン関連需要やアミューズメント向け製品取引の増加などを背景に好調に推移。電子機器・電子材料事業はイメージング機器等の輸出が好調でした。ICT・モバイルソリューション事業も堅調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比2億円増加の1,265億円、営業利益は5億円増加の41億円となりました。

Foods & Grain 売上構成比

28.3%

食料



売上高・営業利益 (億円)



主要事業

- 食品
- 畜水産
- 飼料
- 穀物
- 農産油脂

主要グループ会社

- 兼松新東亜食品
- 兼松アグリテック
- 兼松ソイテック

事業レビュー

当セグメントでは、「食の安全・安心」をテーマに、原料の調達から製品加工までの一貫供給体制により、穀物や油脂原料、飼料、畜水産物などを安定確保し、幅広い製品を提供しています。また、惣菜・加工食品事業等の展開も行っています。当第2四半期は、畜産事業は需要増および相場の堅調推移を受け、全般的に好調でした。食糧事業も、穀物取引、飼料取引ともに順調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比53億円減少の1,514億円、営業利益は9億円増加の24億円となりました。

事業別概況

Steel, Materials & Plant 売上構成比

42.0%

鉄鋼・素材・プラント



売上高・営業利益 (億円)

□ 売上高(通期) □ 営業利益(通期)
■ 売上高(中間期) ■ 営業利益(中間期)



主要事業

- 鉄鋼貿易・特殊鋼貿易
- 国内鉄鋼・鉄鋼原料
- 機能性化学品
- ライフサイエンス
- 原油・石油製品・LPG
- プラント・船舶
- 工作機械・産業機械

主要グループ会社

- SSOT
- BPT
- 兼松トレーディング
- 兼松ベトロ
- 兼松ケミカル
- 兼松ケージーケー

事業レビュー

当セグメントでは、鉄鋼製品、石油製品、機能性化学品、産業プラントなど幅広い分野を取り扱っています。当第2四半期は、プラント事業は東南アジアにおけるプラントインフラ取引が好調でした。鉄鋼事業は主力の油井管事業においてオフショア掘削回復遅れの影響があるものの、油井管加工事業は順調に生産量が伸長しました。エネルギー事業は、天候不順による消費減退が影響して石油製品の販売が減少しました。その結果、売上高は前年同期比22億円増加の2,242億円、営業利益は8億円減少の31億円となりました。

Motor Vehicles & Aerospace 売上構成比

5.8%

車両・航空



売上高・営業利益 (億円)

□ 売上高(通期) □ 営業利益(通期)
■ 売上高(中間期) ■ 営業利益(中間期)



主要事業

- 車両・車載部品
- 航空宇宙

主要グループ会社

- 兼松エアロスペース
- 新東亜交易
- KG Aircraft Rotables

事業レビュー

当セグメントでは、高い専門知識と豊富な情報量を駆使し、自動車・二輪車および関連部品事業を世界規模で展開しています。また、産業車両、建設機械などの貿易取引や航空機・航空機部品、衛星、宇宙関連製品ビジネスも行っています。当第2四半期は、航空・宇宙事業は航空機部品取引が順調でした。車両・車載部品事業は、欧米・アジア向けを中心として二輪・四輪車用部品取引が堅調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比20億円増加の310億円、営業利益は2億円増加の14億円となりました。

収益基盤拡大に向け、国内外で 続く兼松の挑戦

自動車産業を中心に 成長を続けるメキシコで事業を展開

メキシコは、米国に近い地理的優位性や自由貿易協定の存在などにより、注目が高まっています。こうした背景を踏まえ、兼松では自動車や鉄鋼関連を中心に事業を拡大するため、現地法人・兼松メキシコを設立しました。自動車関連では機械総合機能商社の兼松KGKが再開した米国会社とも連携し、メキシコ市場における顧客サービスの提供や、その他事業においても新規商権開拓に取り組んで参ります。



2014年7月営業再開
KGK International Corp.



2014年4月設立
兼松メキシコ

memo

メキシコではモータリゼーションが進んでおり、主力である自動車産業を中心に順調な経済成長を続けています。



memo

米国に近く、労働コスト面でも優位なことから、メキシコには日系・欧米の自動車メーカー、部品メーカーが数多く進出しています。

北海道で ペットフード製造事業に参画

兼松は、ペット用スナック製造事業を展開する株式会社ノースペットの事業を譲り受け、新会社として営業を開始しました。国内ペットフード市場は安定した推移を見せており、アジア諸国でも市場拡大が期待されます。今回の買収により、原料調達から製造、販売までの一貫体制を確立。兼松が培ってきた知見・経験に、ノースペットの強みを融合し、更なる事業の拡大と成長を目指します。



猫用「キャミー」シリーズ



犬用「大地の約束」シリーズ

株式会社ノースペットとは…

ノースペットは、北海道を拠点とする老舗ペット用スナックメーカーで、国内有数の工場設備を保有しています。北海道産の畜肉・魚介類・農産物を使用し、安心・安全を第一に製造された製品は、高く評価されています。



主要財務データ

連結財務データ

	(百万円)	
	前第2四半期 2013.4.1~2013.9.30	当第2四半期 2014.4.1~2014.9.30
売上高	537,583	534,355
営業利益	10,512	11,085
経常利益	10,954	10,562
四半期純利益	6,288	6,090
1株当たり四半期純利益(円)	14.97	14.50
営業活動による キャッシュ・フロー	11,649	6,196
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,047	△2,520
財務活動による キャッシュ・フロー	△8,660	△10,689
現金及び現金同等物の 四半期残高	59,751	66,963

	(百万円)	
	前期末 2014.3.31	当第2四半期末 2014.9.30
総資産	428,459	424,334
純資産	96,204	102,964
1株当たり純資産(円)	170.54	186.18
ネット有利子負債	68,038	64,226
自己資本比率(%)	16.7	18.4
ネットDER(倍)	0.9	0.8

<ご参考>

2015年3月期連結業績見通し

(百万円)

売上高	1,150,000	当期純利益	11,000
営業利益	22,000	1株当たり	
経常利益	20,500	当期純利益(円)	26.19

 詳細の財務データはこちらを参照ください。

<http://www.kanematsu.co.jp/ir>

配当について

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本としております。

2015年3月期第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、本年8月15日に当社創業125周年を迎えたことから、これまでご支援いただいた株主の皆さまへの感謝の意を表し、1円の記念配当を含む2円50銭とさせていただきます。

2015年3月期の期末配当につきましては、1株当たり1円50銭を予定しており、年間では4円となる予定です。

配当の状況

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2015年3月期	2.50円 (普通配当 1.50) (記念配当 1.00)	予想 1.50円 (普通配当 1.50)	予想 4.00円 (普通配当 3.00) (記念配当 1.00)
2014年3月期	1.50円	1.50円	3.00円

会社概要 (2014年9月30日現在)

社名	兼松株式会社
英文社名	KANEMATSU CORPORATION
創業	明治22年(1889年)8月15日
設立	大正7年(1918年)3月18日
本店	神戸市中央区伊藤町119番地
本社	東京都港区芝浦1丁目2番1号
資本金	27,781,141,350円
従業員数	827名(国内・海外出向者などを含む)

役員 (2014年9月30日現在)

取締役および監査役	執行役員
代表取締役社長 下嶋政幸	社長 下嶋政幸
代表取締役副社長 長谷川理雄	副社長執行役員 長谷川理雄
取締役 村尾哲朗	専務執行役員 村尾哲朗
取締役 郡司高志	専務執行役員 郡司高志
取締役 作山信好	専務執行役員 戸井田守弘
取締役 平井豊	専務執行役員 金子哲哉
監査役(常勤) 岡本司	専務執行役員 宮部佳也
監査役(常勤) 梨本文彦	専務執行役員 作山信好
監査役 山田洋之助	専務執行役員 谷川薫
監査役 伊藤道代	専務執行役員 柴田和男
	専務執行役員 稲葉啓一
	執行役員 菅栄治
	執行役員 森田克己
	執行役員 濱崎雅幸
	執行役員 平澤裕康

(注)1. 取締役 平井 豊氏は社外取締役であります。
 2. 監査役のうち、岡本 司、山田洋之助の両氏は社外監査役であります。
 3. 平井 豊、山田洋之助の両氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行済株式の総数(自己株式1,128,908株を含む)	422,501,010株
株主数	28,546名

大株主 (2014年9月30日現在)

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,896	4.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,775	3.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,298	3.15
農林中央金庫	12,460	2.95
三井住友海上火災保険株式会社	11,613	2.75
東京海上日動火災保険株式会社	11,612	2.75
ハイアット	5,435	1.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	4,514	1.07
メロン バンク トリーティー クライアーツ オムニバス	4,448	1.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	4,417	1.04

(注)持株比率は自己株式(1,128,908株)を控除して計算しております。

株式の分布状況 (2014年9月30日現在)

所有者別



所有株数別



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

期末配当基準日 3月31日

中間配当基準日 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告
ただし、やむを得ない事由により電子公告による
公告をすることができない場合は、東京都におい
て発行する日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載のホームページアドレス
<http://www.kanematsu.co.jp>

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京(証券コード:8020)

【住所変更等諸手続のお申し出先について】

最近、株主さま宛の郵送物が宛先不明で返送されてくるケースが増えて
おります。現在お届けいただいておりますご氏名(法人の場合は商号およ
び代表者名)・ご住所等に変更がありましたら、お手数ですが**株主さまの
口座のある証券会社等**にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主さま
は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申
し出ください。

